

この川へ帰ってきてね!!

サクラマス稚魚の放流式

四月二十三日、子どもたちに生物や河川に親しんでもらおうと、荒川漁業協同組合主催の「サクラマスの稚魚放流式」が、荒川水辺プラザで行われました。

放流式には、村内保育園の年長児四十五人が参加。子どもたちは「またこの川へ帰っ

てきてね」と元気よく約二万匹の稚魚を清流荒川へ放流しました。

和田直樹さん（下関保育園・勝蔵）は「楽しかったです。川の中を泳いでいく魚を見るのができて良かったです」と感想を話していました。

荒川漁業協同組合の中倉虎治組合長は、「秋になつたら、卵から魚になる過程を見てく

ださい」と子どもたちに話していました。また、荒川漁業協同組合から、放流に使ったバケツを砂遊び用にと子どもたちにプレゼントされました。

放流したサクラマスが大きくなって、荒川へ戻って来る日が待ち遠しいですね。きっと子どもたちは喜んでくれることでしょう。



わらびとり 宿泊パック 大収穫に参加者大満足

村温泉旅館組合と村観光協会主催の「わらびとり宿泊パック」が、五月九日から五月三十日までの四回シリーズで開催されました。えちごせきかわ温泉郷の一

泊二食とわらびとり、山菜弁当がセットになったお得なパックには、新潟市や長岡市、阿賀野市などから約百三十人が参加。大石集落のわらび畑でわらびとりを楽しみました。

参加者は、辺り一面に伸びているわらびを慣れた手つきで次々と収穫。あつという間に抱えきれないほど収穫していました。

参加者はリピーターが多く、ほとんどが夫婦や家族連れ。新潟市から参加された男性は「今年で二回目の参

加ですが、友人を誘って十人で来ました。たくさん収穫できて嬉しいです」と話していました。



春見つけた

満開の菜の花畑で春探し

五月十日、関川小学校の一年生四十三人が、菜の花が満開のフラワーパークで「春さがし」を行いました。

これは授業の一環で、近くの公園などでいろいろなものを見ることが目的で行われたもの。

先生から「春のものを四つ探してください」との課題に、参加した児童は、満開の菜の花畑で、ちようちよたんぼぼなど、春のものを「春のものを」を見つけ、それぞれスケッチしていました。

松本苗幸さん（上関）は「いろいろな花を見つけることが出来てうれしかったです」と喜んでいました。



「盛り上げる！歴史をつくれ！
記念に残る運動会」

開校後初の関川小学校大運動会



5・6年生の団体競技「騎馬戦」

晴天に恵まれ、絶好の運動会日和となった五月二十二日、「開校記念関川小学校大運動会」が関川中学校グラウンドを会場に行われました。運動会は、関川小学校が四月に開校してから初めての開催。全校児童二百八十八人をはじめ来賓や教職員、保護者や家族など大勢の方が参加しました。

当日は、白組・紅組に分かれた子どもたちが、これまで練習を重ねてきた趣向をこらした種目や全力でバトンをつ



荒削道具「ちょうな」

伝統の技法で渡邊邸を再生

大規模改修中の国重要文化財・渡邊邸では、「ちょうな」を使って梁に使用する木材を削る作業を行っています。

「ちょうな」とは、木材を荒削りする際に使用する大工道具で、柄の刃先で木材の表面を削り出すのが一般的な使い方です。主に柱や梁などの荒削道具として使われてきました。

「ちょうな」を使うと、独特の波状の削り肌を残します。近年は木造建築の減少や洋風建築の普及により、大型の木材を使うことが少なくなり、「ちょうな」の出番は少なくなっています。

職人の皆さんが魂を込めて仕上げている梁は、この先何百年と渡邊邸を支えてくれることでしょう。

関川村商工会

永年勤続優良

従業員表彰

五月十七日、第五十回関川村商工会通常総会が開催され、永年勤続優良従業員の表彰が行われました。

* 敬称略

- 勤続三十年以上
- 渡邊智子(雲母本館・39年)
- 松田勇吉
- (下越生コン建設株)・30年
- 勤続二十年以上三十年未満
- 阿部千恵子
- (雲母本館・24年)
- 高木巴子(雲母本館・21年)
- 小野富美子
- (栄久堂薬舗・20年)
- 勤続十年以上二十年未満
- 大濱美貴子
- (セーブオン関川店・10年)
- 駒沢真貴子
- (セーブオン関川店・10年)
- 勤続五年以上十年未満
- 菅原正美
- (下越生コン建設株)・5年)
- 菅原猛夫
- (下越生コン建設株)・5年)
- 近藤則雄
- (下越生コン建設株)・5年)
- 本間雅和
- (下越生コン建設株)・5年)